

本マニュアルの構成

本マニュアルは、以下の 3 部構成となっており、事業者が算出結果の精度(確からしさ)を向上していくための考え方や具体例などの参考情報を掲載しています。特に第 I 部には、本マニュアルにおける基本的な考え方を記載していますので、重点的に確認するようにしてください。

○ 第 I 部 基本編

→ 排出量等の算出および排出量等の把握の精度向上（精度を向上させることのメリット、排出量等の把握の各段階における考え方）に関する基本的な考え方を記載しています。

○ 第 II 部 解説編

→ 特定の業種や工程によらない排出量等の算出の一般的な作業内容について詳しく記述しています。また、化学物質の排出される場所や排出の特徴、算出結果の確からしさについての把握の例、作業シートへの記入方法等も記載しています。

○ 第 III 部 資料編

→ 第 I、II 部における掲載内容の詳細(OECD(経済協力開発機構)の文書や業種別の算出マニュアル等における算出方法の考え方の事例、実測や排出係数の設定の際の留意点等)のほか、排出量の算出等に役立つ資料を記載しています。

第 I 部 基本編

第 I 部の使い方

第 I 部は、PRTR の基本的な事項と、1 つの事業者を例にとった排出量・移動量の算出から届出までの基本的な手順を掲載しています。

排出量を把握するに当たっての基本的な事項として知っておきたいことについて以下の各章を読んでください。

- PRTR とは何か、その実施によって事業者にはどんなメリットがあるのか
→ 1. PRTR 制度の意義 (→ [p I -4](#))
- 対象事業者となるかどうか、何が届出の対象物質となるのか
→ 2-1 届出対象事業者・届出対象物質の判定手順 (→ [p I -16](#))
- どのように排出量・移動量を算出するのか
→ 2-2 排出量・移動量の基本的な算出手順 (→ [p I -33](#))
- どのように PRTR の届出をするのか
→ 2-3 届出の仕方 (→ [p I -63](#))

また、本マニュアルでは事業者が算出結果の精度(確からしさ)を向上していくための考え方や具体例などの参考情報を掲載しています。

そのうち、第 I 部では本マニュアルにおける基本的な考え方を掲載しています。具体的には以下の該当ページをご確認ください。

- どのような流れで排出量等を算出するのか、算出の精度を向上させていくことにどのようなメリットがあるのか
→ 2-2 排出量・移動量の基本的な算出手順 (→ [p I -33](#))
- 化学物質の排出される場所、排出の特徴をどのように把握すれば、より確からしい算出となるのか
→ 2-2-2 化学物質の排出される場所、排出の特徴を把握する際の考え方 (→ [p I -38](#))

- 使用する算出方法をどのように選択し、選択した算出方法をどのように適用すれば、より確からしい算出となるのか
 - 2-2-3(1) 基本的な算出方法の考え方 (→p I -39)

- 算出結果の確からしさをどのように把握すればよいのか
 - 2-2-4 算出結果の確からしさを把握する際の考え方 (→p I -62)